

令和元年度 社会福祉法人 AnnBee 事業報告

法人全体 事業報告

年度当初職員からの申し出もあり法人の理念と職員それぞれの役割を最初の内部研修とし、その思いをもって一人一人が利用者と共に成長した1年だと言えます。理念に基づき法人の各事業でそれぞれの役割を担って支援にあたることを学び、実践してきたと思います。内部研修が実際の現場で活かされることも継続的に研修を行うことで活かされてきています。今後も同じ事をいろいろな視点をもって継続的に行えば、さらに利用者「安心」を持っていただけたと思います。一番に「安心」であり「安全」であり、「成長」と「自信」と「喜び」につながっていくことになるよう支援に努めています。

「地域で暮らす」という課題にはAnnBee祭が国分寺市内の皆様のご協力のもと、開催できたことがうれしい出来事でもあります。1年ごとに広がりを見せ人が人を呼んで大きな笑顔となっていることに大変感謝するとともに大きな喜びにつながっております。支えてくださっている多くの方に感謝し今後も地域の方と共に楽しめる祭りにしたいと思っております。

児童発達支援事業では、毎日の療育が子供たちの社会性のある成長へとつながってきた1年であり、子供たちの成長に欠かせない社会性を、自然豊かなこの地と人とで繋いできた1年になりました。

生活介護は、働いて物を作り出すことの継続が、ワゴンセールを実施することで地域の方々の暮らしに役にたてることができ自信につながった1年になりました。

就労継続支援B型は新たに企業訪問販売が広がり、力がつくと同時に一般就労に結び付けることができたのは、日々の積み重ねの中で社会人としてのマナーや働く意欲を身に着けたことが大きな要因だと思います。

移動支援においては地域の同業種の方との連携ができた事でガイドヘルパー養成講座を開催することができ大きな一歩となり、そこから現在の利用者のニーズをくみ取り行動できることへの一歩になりました。

短期入所は、これまでの法人の利用者以外の方の参加が少し増えてきたことが、新たなニーズの発見となることができたと思います。また今後の取り組み方も方向性を見出すきっかけになった1年になりました。

グループホームはユニットを運営してきたことでオーナーさんからグループホームとして使ってほしいと申し出があったこともあり、8月に新しくグループホームを開所することができました。このように外部から認められて機会をいただけたことに感謝すると共に今後も皆さんが生活するこの地域で、豊かに暮らせることを目標として行きたいと思っております。

相談支援は、福祉サービスを使って一人一人が豊かに生活できるように私達事業者が時間をかけ、寄り添えるよう向き合っ、ご本人、ご家族とそこに携わる関係者と共に進むことが大切だと感じた1年でした。

11月より社会福祉法人に精通する会計税理事務所と契約させていただきました。経理規程も改訂し今後は、より法にのっとって進めることができると安心いたしました。これまで5年間法人会計で悩んできましたが、近い将来、経営に即して中期計画をたてることができると思います。

法人として、外部へ発信する役割があります。今年度は、市議会議員の方をはじめいろいろな分野の方々と面談する機会を持つことができました。今後も積極的にアプローチし、障害者福祉の実情をご理解いただき共に福祉の発展と市の発展を担っていきたくと思っています。

年度末に社会状況が一変し、コロナウィルス感染防止対策についても、日々情報に変化する中で収支状況等の経営上の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、現状だけでなく、起こりうるリスクを含めた具体的な情報を外部や法人内の各事業部門から収集し、分析しながら迅速な事業運営の判断が必要とされる厳しい状況となりました。

社会の変化を理解することが難しい方々のストレスは計り知れないものだと思います。

だからこそ福祉の現場では一つでも日常に近い状況で続けていくことが大事だと改めて感じました。

拠点区分法人本部

法人本部事業報告

(1) 地域社会貢献

- ・万葉花まつり運営委員として参加し、陶芸教室を行いました。
- ・10月AnnBee祭り開催

国分寺市、教育委員会、社会福祉協議会より後援をいただきました。校長会でも場をいただき、国分寺市内全小中学校にチラシを配布しました。市内の多くの方に障害者理解を得ることを目標とし、実施することで障害者が地域で共生するために法人が担うべき地域貢献ができる機会となりました。教育分野に発信する機会ができたことで近い将来、市内の小中学生の仕事体験の場や見学の機会となり、より共生社会の一端を担うことができると考えます。

- ・地域の祭り(八幡神社例大祭、もとまちファミリー運動会、若竹会盆踊り、元町公民館まつり、東元町商店会まつり、国分寺6小夏まつり及び春よこい)に積極的に参加しました。今後も福祉、教育分野等においてしっかりと連携を取れるように継続的な活動を行います。また企業等の団体にも積極的に発信していきます。

(2) 障害者の権利擁護

- ・内部研修

法人理念、災害時の対応、虐待防止、感染防止などについての研修を実施しました。各事業において具体的な研修を行い一定の成果が出ており、今後も啓発活動を継続します。

・外部研修

権利擁護、サービス管理責任者等研修に参加しました。その他各事業において必要な研修を受けました。

(3) 組織及び人材育成

管理者会議を設置し職員及び組織の体制作りについて検討し、運営及び人材育成、研修制度及びキャリアアップ計画を作成し実践できるように体制作りを行いました。

(4) 防災対策の強化

備蓄飲料、食料などの最低限必要な物品を確保しました。災害が起きた場合を想定して法人内でシミュレーションやワークショップを行ったが、法人全体が連携出来る体制作りは課題として残りました。

災害時における国分寺市、国分寺市内の各施設、地域との連携のあり方を法人内や社会福祉法人連絡会、国分寺市地域連携推進協議会で検討する方向ではありますが、具体策については今後の課題として協議を続けていきます。

(5) 理事会・評議員会の運営

6月に理事改選が行われ、任期は令和3年定時評議委員会までとします。

理事会4回、評議員会1回開催しました。

理事会の意思決定に基づき、法人全体や各事業の計画的な進行管理、運営を行うため管理者会議を発足し遂行できるように努めました。

また、中期、長期計画を立てる上で欠けている運営に対する予算計画、執行について、これまでの税理士事務所から社会福祉法人専門に運営されている会計税理事務所に変更し今後計画的に法人を運営していく体制を整えました。

コロナウィルスの感染防止のため厚生労働省及び東京都福祉保健局等の指示もあり市内以外の理事についてはオンライン会議で実施しました。

(6) 職員研修等の実施

法人として各事業施設内、施設外の研修は必要に応じて実施しました。

(7) 実習生、研修生の受入れ及び派遣

11月に大学生2名の実習生を受け入れ、より充実した勉強の機会となるよう努めました。

(8) 施設整備及び改修

本部ビル内での不具合の調整 各事業所の必要な修繕を行いました。

(9) 関係機関及び福祉施設との連携

社会福祉法人連絡会、国分寺市地域福祉推進協議会、国分寺市障害者福祉をすすめる会、障害児通所支援事業所連絡会、円卓会議等に所属し情報交換及び様々な連携ができるよう取り組みました。

(10) 施設の開放

5月 anto 幸せ子育て後援会 託児付きで開催 講師梶原厚子氏

6月 IMA Reia 予防環境支援講習会 医療・福祉関係者

2月 映画「道草」上映会

(11) 法人研修の実施

内部研修（グループワーク含）3回

外部研修は必要に応じて各事業部門より選出して行いました。

拠点区分ビーパス

多機能型ビーパス 事業報告

◆就労継続支援B型事業◆

平成30年度より取り組んでいる乾燥野菜事業、化粧品製造委託事業も順調に進んでいます。菓子製造は、マルイ店舗に新たに正社員を採用し、売上も少しずつ伸びています。また、企業内の訪問販売も順調に進んでおり、利用者も販売の仕事に携わるなどして、今までにない仕事の形も確立でき、将来、一般就労を目指す利用者のための経験の機会を与える場となりました。

令和元年度は新たに2名の利用者が加わり、その内の1名が販売の経験を経て、KDDIカフェに障害者枠で就労することができ、これまでのビーパスの活動の中で、初めて外部に就職することができ、希望する利用者には積極的にチャレンジしていただきました。

1 利用状況 利用定員 主たる事業所 10名 従たる事業所 10名

利用者数 16名（令和2年3月時点）

年間稼働日数 246日

年間平均利用率 88.5%

年間延利用日数 3688日

※退所者1名（令和2年年3月末日退所 外部へ就労したため）

※入所者2名（令和元年5月、令和元年6月）

2 職員体制 施設長1名

サービス管理責任者1名 常勤職員2名 非常勤職員5名

マルイ菓子販売非常勤職員1名 非常勤職員4人

3 所在地 東京都国分寺市西元町3-6-14（主たる事業所）

東京都国分寺市西元町3-8-6（従たる事業所）

4 事業運営基本方針

利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するために、通所による職業習慣の確立、集中力、持続力等の習得、適性や課題の把握を行い、生産活動の機会を提供するとともに、社会ルールを身に付け、一人一人の持っている能力や適性を活かした仕事に取り組めるように利用者に対して必要なサービスを提供しました。

5 利用者支援

(1) 作業支援

利用者本人の持っている能力を発揮し、働く意欲をもち自信を持って仕事に取り組めるよう支援し、所得の向上をめざした作業の確保や生産に努めました。

(2) 生活支援、健康管理

- ① 利用者個々の心身の健康状態を常に把握し、日常生活を送る上での必要な金銭管理や対人関係の指導・支援を行いながら、自立した地域生活が送れるよう支援します。
- ② 年1回の健康診断を実施します。令和元年度はいずみプラザにある国分寺市医師会公衆衛生センターが実施する健康診断を受けました。就労継続支援B型において健康診断は義務ではないため、今回より希望制とし、さらに診断料の半額をご本人、半額をビーパスが負担することとしました。

(3) 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓に努め、作業所の換気、危険の防止に留意しました。

6 日中活動における作業内容

【菓子製造】

常設及び委託販売： マルイ国分寺店（平成28年10月より）、おたカフェ、ムーちゃん、びより

卸 販 売： 立川ららぽーと、西国分寺プラットホームカフェ、KDDI(株)東京
KDDI(株)大阪、日本ベイリンガーインゲルハイム(株)、トヨタ

訪 問 販 売： 東芝府中工場内の食堂等で社員向けに販売

エスエス製菓、(株)ケンウッド、(株)ダイナブック社内販売。

利用者も4名程度がローテーションで販売に出向き、試食の配布や直接お客様から注文を受けたり、商品の受け渡しを行ったりしています。

【石けん製造】

常設委託販売： おたカフェ 国分寺ムーちゃん広場

【乾燥野菜・果物の製造販売】

国分寺ブランドである『こくベジ』野菜、果物を中心に季節に合わせた乾燥製品を国分寺市内の農家と連携を取り、製造販売しました。

【受注作業】

化粧品製造：株式会社しむら よりヘナやアロマオイルなどの充填、シール貼り、箱詰め作業を行いました。

7 防災計画

社会福祉法人AnnBe消防計画に即し、避難・消火・通報訓練を実施しました。

8 日中活動

【月曜日～金曜日】

8:45	出勤～着替え	13:30～	仕事
9:00～	朝礼～体操	14:30～14:40	休憩
9:15～	仕事	14:40～	仕事
10:15～10:25	休憩	15:50～	終礼
10:25～	仕事	16:00	退勤
12:30～	昼食		

9 行事

- ・フラワーアレンジメント（6月）
- ・宮城県 仙台・松島方面旅行（9月）

- ・国分寺殿ヶ谷戸庭園にて茶道会（11月）
- ・マナー教室 コロナウィルス感染拡大防止を受け中止
- ・ダンスクラブ 有志で週1回活動し、地域の祭りやイベント等で披露しました。

10 研修

- ・国分寺市自立支援協議会就労支援部会(5月17日、9月10日、12月10日、2月3日)
- ・国分寺市お仕事ネットワーク定例会(毎月第二木曜日)
- ・サービス管理責任者研修(今年度3名受講)
- ・弘済学園療育セミナー(1月31日 2名受講)
- ・法人内研修(年3回実施)

11 実習生の受け入れ

- ・白梅学園短期大学(実習生2名受け入れ 8月29日～9月13日まで)
- ・白梅学園大学(実習生2名受け入れ 11月7日 11月22日まで)

◆生活介護事業◆

利用定員はすでに定数に達しており、事業内容にも大きな変化はありません。

各班の作業に関して製作は順調ですが、販売経路の確保がまだまだ整っていないため、今後その点を考慮しながら作業を進めていくことも考えなければなりません。また、令和元年度いっぱい、これまで行ってきました国分寺市より委託を受けていた歴史公園武蔵国分尼寺跡の清掃も計画的に進めることが困難になってきたため、次年度より就労継続支援 B 型に移行することとなりました。

1 利用状況 利用者数 25名（令和2年3月時点）※定員20名 125%受入

年間稼働日数 244日

年間平均利用率 95.4%

年間延利用日数 5831日

2 職員体制 施設長1名 サービス管理責任者1名 常勤職員5名

非常勤職員10名 非常勤看護師1名

3 所在地 東京都国分寺市西元町3-6-14

4 事業運営基本方針

自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所により一人ひとりが持っている能力、可能性を引き出せるように生活面(基本的生活習慣)の支援を行いました。作業を中心に活動を行い、利用者それぞれの力に合わせた作業を展開し、質の高い製品作りを目指し、社会経済活動へ参加します。個別支援計画に基づき利用者に必要なサービスを行いました。

5 利用者支援

(1) 作業支援

利用者本人の持っている能力を発揮し、働く意欲をもち自信を持って仕事に取り組めるよう支援し、将来的に工賃確保をめざした作業の確保や生産に努めました。

(2) 生活支援、健康管理

利用者個々の心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送る上での必要な基本

的生活面及び対人関係の指導・支援を行いながら、自立した地域生活が送れるよう支援します。

(3) 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓に努め、作業所の換気、危険の防止に留意しました。乾燥、ウィルス対策のため空気清浄機付き加湿器を設置、健康面へ配慮しました。

(4) 地域活動

地域貢献として1週間に1度地域清掃ボランティアを実施しました。

6 日中活動における作業内容

【生産活動】

陶 芸 : 食器、植木鉢等製作販売 作業工程も昨年度と比較すると利用者一人ひとりに合った内容で行うことができ、粘土からの製作、削り出し、釉薬掛け等の作業にも携われるようになってきました。

さき織り : 全体的な作業内容は変わりませんが、ポップナ織を知ったきっかけから、着物の横糸を起毛させるという新たな作業内容が各利用者にマッチしているようにみられました。

染 物 : べんがら染は利用者がしっかり作業工程を理解することができており、以前よりも丁寧な作業を心掛けられるようになってきています。そのおかげで、製品自体の質が向上しています。

竹 細 工 : 利用者が作業工程を理解し、作業スピードもアップしたので製品ができるまでの期間が大幅に短縮されるようになりました。質の良いものの製作を目指していますが、作業工程や作業内容は他の班と比較すると、工程が少なく、単調である点、作業のゴールがなかなか見えづらい部分もあり、次年度への課題として考える必要があります。

【業務委託事業】

公園清掃 : 国分寺市より業務委託 歴史公園武蔵国分尼寺跡清掃等業務

7 防災計画

社会福祉法人A n n B e e 消防計画に即し、避難・消火・通報訓練を実施しました。

8 日中活動（一日の流れ）

【月曜日～金曜日】

9:00～	開所～着替え	13:30～	作業
9:30～	朝礼～体操	14:30～14:45	休憩
9:50～	作業	14:45～	作業
10:30～10:45	休憩	15:30～	掃除、片づけ、着替え
10:45～11:30	作業	15:50～	終礼
11:30～	片づけ～昼食準備	16:00	閉所
12:00～	昼食		

9 行事

- ・ 自主製品を法人の玄関先にてワゴンセールの開催（年4回）
- ・ フラワーアレンジメント（6月）

- ・1泊旅行 茨城県大洗方面（9月）
- ・国分寺殿ヶ谷戸庭園にて茶道会（11月）
- ・武蔵村山市『小林農園』にてみかん狩り（11月）
- ・書初め（1月）
- ・もちつき（1月）
- ・マナー教室 コロナウィルス感染拡大防止を受け中止

10 研修

- ・国分寺市自立支援協議会就労支援部会（5月17日、9月10日、12月10日、2月3日）
- ・国分寺市お仕事ネットワーク定例会（毎月第二木曜日）
- ・サービス管理責任者研修（今年度3名受講）
- ・弘済学園療育セミナー（1月31日 2名受講）
- ・法人内研修（年3回実施）

11 実習生の受け入れ

- ・白梅学園短期大学（実習生2名受け入れ 8月29日～9月13日まで）
- ・白梅学園大学（実習生2名受け入れ 11月7日 11月22日まで）

児童発達支援事業所 a n t o 事業報告

a n t oは、障害の気づきの段階から継続的な支援を行い、充実した毎日を過ごし日常生活や社会生活を円滑に営めるよう、今、どんな支援が必要かという視点に立ち『生きる力・心と体の土台をつくる』ことを目標に長時間療育を行ってきました。その結果、今年度の利用者アンケートでは、満足度100%の評価をいただき、どのお子さまも社会性とコミュニケーションの力が伸びました。契約利用者数も増え、特に3歳未満のお子さまと身体的に疾患のあるお子さまの利用が増えました。しかし、利用率は未だ100%には達していません。今後の課題としては、専門性を有する職員を増やし事業所の質を上げて行くことが急務と考えられます。また、事業所の療育内容等を随時ホームページで発信できなかつたことも原因の一つと考えています。

- | | | |
|------------|------------------------------|-------|
| 1 利用状況 | 契約利用者数 | 20名 |
| | 年間稼働日数 | 259名 |
| | 年間平均利用率 | 51% |
| | 年間延利用日数 | 1332日 |
| 2 職員定数 | 管理者1名 児童発達管理責任者1名 保育士1名 | |
| | 非常勤保育士3名 非常勤児童指導員2名 非常勤指導員1名 | |
| 3 所在地 | 東京都国分寺市西元町3-11-17 | |
| 4 事業開始年月日 | 平成29年12月1日 | |
| 5 事業運営基本方針 | | |

お子さまの成長は、「遊び」を通して促されることから、周囲との関わりを深めたり、表現力を高めたりする「遊び」を通し、指導員が適切に関わる中で、豊かな感性や表現する力を養い、お子さまが自発的、意欲的に関わられるように支援を行いました。

また、一人一人の保護者の状況やその意向を理解し、受容し、それぞれの親子関係や家庭生活に配慮しながら援助し、必要に応じて行政、医療、福祉などと連携を図りお子さまの成長を支援しました。

6 児童発達支援

(1) 本人支援

・個別支援計画

障害のあるお子さまの個々のニーズにあった支援を提供するため、保護者の意向を把握し以下の項目についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成し、これに基づき細やかな支援を提供しました。

- ①心身の健康や生活に関する領域「健康・生活」
- ②運動や感覚に関する領域「運動・感覚」
- ③認知と行動に関する領域「認知・行動」
- ④言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「言語・コミュニケーション」
- ⑤人との関わりに関する領域「人間関係・社会性」

・地域支援、移行支援

地域の中で安心して過ごし社会参加を推進するため、保健師、保育園、家庭支援センター、相談支援等の関係機関と連携を深め、保育園への通所を進めました。

また、既に保育園に通園しているお子さまの支援についても保育園と連携を図りました。

(2) 家族支援

障害のあるお子さまを育てる家族に対して、障害の特性に配慮し、お子さまの育ちや生活を安定させることを基本に、保護者に寄り添いながら発達に合わせた支援を行いました。

・相談支援

保護者の子育て上の悩みや発達上の課題、親子関係や兄弟関係など、どんな相談にも適切な対応を行いました。相談の内容によっては、相談支援専門員や家庭支援センター、保健師、訪問看護師などと連携を行いました。

・講演会開催

保護者や地域の方に向けて、住む町が温かく住みやすい町になれる一端を担いたいとの思いから法人主催の講演会を開きました。

開催日 5月25日(土)13:00~14:30

講師 梶原厚子 (Tamaステーションなる訪問看護代表)

内容 子どもとお母さんが元気になるお話

参加者 21名

(3) 行事

お子さまだけで参加する行事と親子行事を開催しました。季節の行事や伝統行事を体験し社会性を広げ親子行事を行うことでお子さまの障害理解と関係性を深めました。また、今年度初めて療育参観を行いa n t oの療育とお子さまの成長を観ていただきました。1年間の活動の様子を写真展示で紹介しました。

4月16日 春の遠足 飯能市トーベ・ヤンソン あけぼの子ども森公園

7月13日 親子行事 手作りうどんを作って食べよう・七夕飾り

- 7月・8月 プール遊び
- 10月14日 AnnBee祭り
- 11月18日 お茶会（殿ヶ谷戸公園・紅葉亭にて）
- 11月30日 親子行事 みかん狩り（西元町・糸萬園にて）
- 12月19日 親子行事 クリスマスクッキング
- 1月17日 お餅つき
- 3月13日～28日 療育参観期間 ※保護者が療育の見学・参加

7 防災訓練

社会福祉法人AnnBee anto消防計画に即し、避難・防犯・通報訓練を以下の日程で実施しました。利用のお子さま全員が体験することができなかつた為、令和2年度は全員が訓練を体験できるようにします。

- ① 9月12日・13日 避難訓練・地震
- ② 2月10日 防犯訓練・不審者

8 研修会

指導員のスキルアップを目的に外部研修、内部研修への参加を積極的に行いました。

参加した指導員は、研修内容をanto会議や報告書でフィードバックし内容を共有できるようにしました。令和2年度は、指導員が研修内容を決め講師となり事業所内で研修を行えるような体制を整えます。また、外部研修にも指導員全員が積極的に参加できるようにします。

9 会議

- ① 法人全体会議
- ② anto会議（支援会議）に参加しました。

11 障害者の権利擁護

法人主催の虐待防止についての学習会に参加しました。

施設内人権侵害防止に関するチェックリストを実施しました。

12 その他

国分寺市実地指導検査（監査）

実施日 11月13日

コロナ感染予防策としてantoを臨時休業としました。

実施日 令和2年3月2日～6日

短期入所事業柚処(ゆずこ) 事業報告

今年度の短期入所事業の契約利用者は78名と前年度より増加していますが、1ヶ月単位で見ても満床には至らず、まだまだ空床が目立っています。

利用者からのニーズはある一方で、それに応えるためには支援員の確保が必要です。それにより利用率が上がり、一人あたりの利用数を引き上げることができます。

また空床がある場合は事業所側から空き状況を契約利用者に伝え、ご利用していただけるように呼びかける必要があります。

1 利用状況 契約利用者数 78名(利用定員4名)(令和元年3月時点)

年間稼働日数 290日

年間平均利用率 59%

年間延利用人数 866名

2 職員定数 管理者1名 サービス提供責任者1名 常勤1名 登録介護者17名

3 所在地 東京都国分寺市日吉町4-10-50 高楯ハイツB1階、2階

4 事業運営基本計画(方針)

利用者の状況及びその置かれている環境に応じて必要な保護及び生活面の支援を行います。

5 利用者への支援

(1)生活支援・健康管理

利用者個々の心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送る上での必要な基本的な生活面及び対人関係の指導・支援を行いました。

(2)環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓に努め、危険の防止に留意しました。

6 一日の流れ

16:30	入所
18:00	夕食～歯磨き～入浴
21:00～22:00	就寝
6:30	起床
7:00	朝食
8:15～	退所
休日及び休日の連泊時は日中柚処で過ごす場合があります	

7 研修

・5月21日(火) 地域移行支援セミナー 会場：リオンホール国分寺

・5月28日(火) 自閉症セミナー 会場：多摩小児医療センター

・11月15日(金) 法人内部研修会

・12月2日(月) 虐待防止研修会 国分寺市主催 会場 ココブンジプラザ

・2月21日(金) 映画「道草」上映会 会場：法人本部2階

ヘルパーステーションびいと 事業報告

◆居宅介護事業◆

居宅介護事業は介護者として勤務できる者の数に限りがあるため、新規での契約は必要に応じてという形でとどめています。現状維持という形で事業を継続しました。

- 1 利用状況 契約利用者数 5名
年間派遣時間 63時間
年間利用人数 21名
年間延利用人数 26名
- 2 職員定数 管理者1名、サービス提供責任者1名、常勤1名、非常勤5名
- 3 所在地 東京都国分寺市西元町3-6-14（事業所本部）
- 4 事業運営基本計画（方針）
 - ・利用者の心身の状況、その置かれている環境、またその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他生活全般にわたる支援を行いました。
 - ・事業の実施にあたっては、関係区市町村、地域の保健・医療福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。
- 5 研修
 - 5月21日(火) 地域移行支援セミナー 会場：リオンホール国分寺
 - 5月28日(火) 自閉症セミナー 会場：児医療センター
 - 11月15日(金) 法人内部研修会
 - 11月29日(金) 居宅ネット研修会 会場：三鷹市市民協働センター
 - 12月2日(月) 虐待防止研修会 国分寺市主催 会場：ココブンジプラザ
 - 2月21日(金) 映画「道草」上映会 会場：法人本部2階
- 6 その他
 - 6月19日(水) 国分寺市指導検査 実施

◆移動支援事業◆

移動支援事業は多くの市区町村にまたがり契約者も多く、土、日祝祭日に利用が集中するため、ヘルパーの確保が課題となっています。

今年度は新規の契約、利用希望があり、そのニーズに対してヘルパーが不足していることがあり、既存の契約利用者の利用回数を減らし、代わりに新規契約利用者が1回でも利用できるようにして対応をしました。それでも実際は依頼をお断りしていることも多々あるため、引き続き様々な形での人材確保は課題です。

今年度は国分寺市移動支援連絡会開催のガイドヘルパー養成講座を通して3名のヘルパーを新規で確保し、現在もそのうち2名が活躍しています。

- 1 利用状況 契約利用者数 62名
年間派遣時間 6846時間
年間利用人数 469名
年間延利用人数 1373名

2 職員定数 管理者1名、登録ヘルパー制度(登録者39名)

3 所在地 東京都国分寺市西元町3-6-14

4 事業運営基本方針

利用者が可能な限りその移動において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように移動支援を提供しました。利用者の意思及び人格を尊重し、支援を行いました。

5 研修

5月21日(火) 地域移行支援セミナー 会場：リオンホール国分寺

5月28日(火) 自閉症セミナー 会場：多摩小児医療センター

11月15日(金) 法人内部研修会

12月2日(月) 虐待防止研修会 国分寺市主催 会場：ココブンジプラザ

2月21日(金) 映画「道草」上映会 会場：法人本部2階

6 その他

6月2、9、23(日) 国分寺市移動支援連絡会主催

ガイドヘルパー養成講座開講 会場：いずみホール小会議室

◆特定相談支援・障害児相談支援事業◆

児童発達支援事業に合わせた児童の契約者数増加、放課後等デイサービスの需要の高まりに伴い新規契約者数は今年度も増加傾向にあります。相談支援専門として1名職員を立て、必要に応じて3名の専門員でバランスを取るよう体制を整えています。今後の受け入れについては再度考慮します。

1 利用状況 契約者数76名

2 職員定数 管理者1名、常勤4名

3 所在地 東京都国分寺市西元町3-6-14

4 事業運営基本方針

- (1)利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、配慮して行うものとし、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な計画相談を行い、地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対して必要な障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援サービスを適切に提供するように努めました。
- (2)事業の運営に当たっては、関係区市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。
- (3)指定地域相談支援は、利用者又は障害児の保護者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するように努めました。
- (4)事業所は自らその提供する指定地域相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めました。

5 外部会議

- ・国分寺市障害者地域自立支援協議会 相談支援部会
- ・相談支援連絡会 1回/月
- ・相談支援関係者会議

6 研修

- ・相談支援連絡会スキルアップ研修
「視覚障がい者ネットワーク」(5月)
「地域移行支援・地域包括ケアシステムの構築を目指して」講師：伊澤雄一氏(5月)
「東京西法務少年支援センターの業務内容について」講師：高橋哲氏(7月)
「障害者—高齢者世帯の支援体制について」事例検討会(9月)
「なぜ人は虐待をするのか」障害のある人の尊厳を守るために 講師：野澤和弘氏(12月)
「在宅で生活している精神障害者のケースにおける課題整理」講師：小野加津子氏(2月)
- ・国分寺障害者団体連絡協議会 講演会 講師：福岡寿氏(12月)
「相談支援を中心に地域生活を支える」地域支援拠点としての展開

7. 緊急保護事業

国分寺市、家族との3者面談。 緊急保護事業必要度の把握、説明等

8. 協力関係機関

東京西法務少年支援センター もくせいの社 要支援 2名

拠点区分なな庵

共同生活援助事業なな庵 事業報告

賃貸であるユニット「つづきや」は、同じ敷地内の物件をオーナーさんよりグループホームで使ってほしいと申し出をいただき8月1日に開所の運びとなりました。同じ敷地内であるため、職員、利用者双方にとって安心感がある事が大きな利点だと考えます。また、自治会、近隣の皆さんが温かい目で見えていただけていることが何よりも嬉しく、法人として「地域で当たり前のように生活する」を目標としている事が、日々の日常で積み重ねられていることに大変嬉しく思います。

サテライトを利用していた1名は、3年の期間を経て新たなチャレンジをしたいと1人暮らしを始められました。入居当時は一般就労されていましたが、退職し就活を続けてきました。サテライト退去後当法人就労Bに所属され改めて就労へ向けて基本を学び3月に新たな就職先が決定しました。3年間のサテライトの生活が社会生活を営む上で成長につながる役目を果たしたと考えます。1名は生活面を見直すことをご本人も希望され当法人のグループホームに入居の運びとなりました。

サテライトの役割は様々な課題と支援があると教えられ、必要性を痛感いたしました。人員配置的にしっかりと支援体制を組むことが必要だと考え、今後グループホームとしてその役割を担っていくには現時点で体制を整えることができないと判断し閉鎖させていただきました。

新規開所したグループホームについても試行錯誤してまいりました。現在1名欠員ですが、今後は支援体制を整えて取り組みたいと考えています。

年度末に新型コロナウイルスの影響があり、休日は外出を規制して市内近隣の散策のみとしました。法人として感染症対策を打ち出すも日々変化し状況判断が難しい状況でした。感染症発生時や感染の疑いがある時の対応は大変難しいものがあり、引き続き厚生労働省、東京都福祉保健局の指導を踏まえグループホームとしてのガイドラインを構築していく必要性があります。また、非常事態において決断することの難しさや問題もたくさんあると考えます。

(1) 利用状況

- ・ なな庵 7名（利用定員 7名 利用者数 7名）
サテライト 1名（5月退去後閉鎖）
- ・ ユニットつづきや 5名（利用定員 5名 利用者数 5名）
サテライト 1名（7月退去後閉鎖）
- ・ ユニット miyaco（利用定員 3名利用者数 2名）令和1年8月1日認可開所

(2) 支援状況

生活面 入浴、洗面、食事等継続的にご自身の力で生活できるよう心掛け、支援しました。洗濯や掃除についても個々の力にあった支援をして個々の自立に向け個別支援計画に沿って実施しました。

食 事 平日は栄養士の献立をもとに提供し、休日は普段できないものやリクエストによるメニューとしました。誕生会のご本人のリクエストによるメニューとしています。いずれも質量ともに満足度の高い献立内容です。

(3) 防災訓練等

年3回実施（地震 火災）

安全な場所に移動することを基本に誘導し実施しました。

非常時に備えて常に対応策を確認していくことが必要となります。

(4) 支援会議

月1回実施し支援のあり方の共有と虐待防止、感染症予防等知識を共有する機会としました。

(5) 健康管理

- ・1年を通して大きな怪我、病気なく過ごすことができました。歯に関してはかなり多くの方に虫歯が見られ治療を要したため、改めて歯磨き支援をマニュアルに即して徹底するよう共有しました。
- ・日常における検温と体重管理を行い健康管理に留意しました。
- ・既往症による定期通院
- ・歯科の治療及び定期通院
- ・協力医との連携及び相談
- ・常用薬の管理
- ・急病、ケガ等における緊急時の対応（通院介助含む）

(6) 余暇支援

- ・休日ホーム内で過ごされる方は、移動支援の利用やグループホームで外出等を行いリフレッシュでき、視野を広げられるように提案しました。
- ・7月に合同（利用者14名と支援者）で1泊2日奥多摩キャンプを行いました。
- ・各個人の誕生日に誕生会を行いました。
- ・12月クリスマス会を行いました。

(7) 金銭管理

- ・小遣い、ビーパス支払、グループホームへの支払いのメール連絡を主として行いました。個別に管理台帳を用意し、物品購入等の出金、保護者からの入金を、記帳確認しました。また、収支の管理報告をし、毎月ご家庭に確認していただきました。
- ・工賃をお預かりし、使用目的はご本人の意向を基本として使いました。

(8) 研修

- ・内部研修 4回（法人理念 防災 虐待防止 感染予防）
- ・外部研修
- ・子どもの心診療支援拠点病院事業 ASD勉強会 包括的性教育の推進に向けて～特別支援学校における性教育の実践から見えてくるもの～
- ・「基礎から学ぶ呼吸の仕組み Part 2～ポジショニング・呼吸介助について～」
- ・「行動障害への実践的アプローチを中心に支援現場が直面する様々な課題を考える」

(9) ホーム内設備・点検・保守等

- ・消防機材点検 年2回（6ヶ月に1回 1年に1回消防署へ報告）
指摘事項 なな庵居室のスプリンクラーの部品の欠損修理
- ・修繕 なな庵キッチン回り水漏れ修理つづきや 洗面所修理
- ・保守点検等 なな庵 つづきや 蟻対策実施

拠点区分公益事業

日中一時支援事業 事業報告

利用者やご家庭の状況に合わせて、必要に応じて日中一時支援を利用していただいた。

- 1 利用状況 契約利用者 34 名
年間派遣時間 124 時間
年間利用人数 24 名
年間延利用人数 65 名
- 2 職員定数 管理者 1 名 登録ヘルパー制度
- 3 所在地 東京都国分寺市日吉町 4-10-50 高楯ハイツ B 1 階 2 階（短期入所）
東京都国分寺市西元町 3-11-17
東京都国分寺市西元町 3-6-14
- 4 事業運営基本方針
利用される方の時間を定め、必要に応じて日中一時支援を利用していただくこととします。